

歯科診療報酬政策の見直しによる歯科医療の充実を求める意見書

歯や口腔を健康に保つことで、全身の健康や介護、療養上の改善等に大きな役割を果たすことが厚生労働省による厚生労働科学研究等で実証されており、今日、歯科医療は口腔機能を維持する上で、ますます重要な役割を担っています。

しかし、現状は、政府の歯科診療報酬政策等により歯周治療や義歯治療の一部が保険適用から除外されているため、保険適用による治療対象の拡大と自己負担の軽減を求める国民の要望にこたえておらず、国民の健康保持が懸念されます。

また、歯科医療機関に対し、安価な診療報酬で患者の長期継続管理が求められていることから、歯科医師を初めとする歯科医療従事者の就労環境は厳しく、将来の歯科医療従事者の確保にも支障を来すおそれが生じています。

よって、国におかれては、下記の事項について実現するよう強く要請します。

記

- 1 患者の窓口負担を軽減すること。
- 2 良質な歯科医療を保険適用により提供するため、診療報酬を改善すること。
- 3 安全で普及している歯科医療技術は、速やかに適正な点数で保険導入すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成22年2月25日

上田市議会議長 丸 山 正 明